



さくら咲く

No.5

平成24年3月5日

題字 桜区PTA連合会特別顧問 白杵信裕



被災地支援アルミ缶 1面 校長会長研修会 2面
ビーチボール大会 3面 花と緑ふれあい事業 4面

発行:さいたま市PTA協議会桜区連合会 事務局:さいたま市大宮区大門町3-1
編集:桜区PTA連合会 広報情報委員会 TEL 048-647-4401

義援金 まずは南三陸町へ 戸倉小、戸倉中へ届ける

アルミ缶を換金した第1回目の義援金を、宮城県でも津波による被害が大きかった、南三陸町の戸倉小学校と戸倉中学校に届けました。美しい漁師町の海のそばにある戸倉小学校は、津波で全てが流されました。戸倉中学校は、戸倉小より約15m高台にあるのですが、それでも5mを超える津波がきて、大きな被害を受けました。

戸倉中の校長先生から、「全国からたくさんの方の支援や励ましをいただきました。直接、みなさんにお返しはできないが、恩返しのできる気持ちを持ち続けていれば、いつかめぐりめぐって、きっとどこかで恩返しができるはず。気持ちをつなげていこう」と、生徒たちと話し合った事を伺いました。



宮城県南三陸町の戸倉小の校長(中)と戸倉中の校長(右)に義援金を手渡す(二月二十九日)

東日本大震災による被災地支援として、さいたま市PTA協議会桜区連合会では、「アルミ缶資源回収」を行い、その収益で義援金や学用品など、被災地の児童・生徒たちが必要としている物を届ける活動を開始しました。

この震災で多くの子どもたちが、つらい体験をしています。家財を失い愛する人たちまでも奪われた子どもたちも大勢います。いま、私たちにできる事として、この活動はできる限り長く広く続けて行きますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

東日本大震災 被災地子ども支援

アルミ缶資源回収



登校時に正門前でアルミ缶を回収(7月、神田小で)

みんなの空き缶で被災地支援
いま、私たちにできること 7月から各校で回収を開始

七月から回収が始まり、一〇月には累計で一〇万円を超えました。桜区内のそれぞれの小学校のPTAでは、曜日を決めて登校時に回収をしたり、専用の回収箱を設置したりして回収を行っています。多くの皆さんからの協力をいただき、たくさんのアルミ缶が集まっています。

アルミ缶回収量と累計金額(単位:円)

月	回収量	金額	累計残
7月	332kg	27,888	27,888
8月	226kg	18,984	46,872
9月	463kg	38,892	85,764
10月	414kg	34,776	120,540
11月	487kg	40,908	161,448
	支援	▲100,000	61,448
12月	377kg	31,668	93,116

いさつ」
をし
声を
いた
いた
る中
いつ
この
さを
する
なる
よう



学期始めに桜区各校にて「あいさつ運動」を展開(9月、大久保東小で)

子どもたちは、地域の皆さんと「あいさつ」をし、声をかけたり、いたりする中で、このふるさとを愛するようになるでしょう。
三期は、朝起きるのがつらい寒さの厳しい中、休み明けとは思えないくらい「おはようございます！」の音が響きわたりました。

あいさつの花を咲かせよう

桜区PTA連合会 平成23年度事業

「おはようございます！」
元気よくあいさつをしてくれる子、ちよつとはずかしそうにあいさつをする子、いろいろな「おはようございます。」がとびかう正門前。さいたま市PTA協議会桜区連合会では各学期のスタートの週に一二校一斉で「あいさつ運動」を行っています。

あいさつ運動を展開



平成23年度 校長会長研修会開催

小中連携がテーマ 桐淵教育長講演・グループ討議

さいたま市PTA協議会桜区連合会 平成二三年度校長会長研修会が、平成二三年二月一七日(土)、浦和別所沼会館にて開催されました。「小中連携〜日本一の教育都市を目指して〜」をテーマに、さいたま市教育委員会教育長・桐淵博先生に講演をいただき、それを受けて各校で熱いグループ討議が行われました。



▶小中連携、小中一貫教育の必要性や課題について講演する、さいたま市教育委員会 桐淵博教育長 (二月一七日、別所沼会館にて)

小中連携〜日本一の教育都市をめざして〜

- ①子供達の「育ち」を巡る環境と社会の変化
子どもの「育ち」、いわゆる生活の健全度が子どもの成績にも反映している。
- ②さいたま市の教育の現況と評価
さいたま市の子どもたちは、学習面や生活面で全国平均と比較して良好な成績を示しており、がんばっている。
- ③小・中の連携〜「一貫」の視点
小中連携モデル校では、不登校生徒が減少しており、小中連携の成果が見られる。



区連会長に聞く

さあ、動き出そう〜Just Movement〜

桜区PTA連合会の井原光太郎会長に聞きました。

桜区での「あいさつ運動」は、かなり定着してきたのではないのでしょうか。

井原：校門でのあいさつ運動で、保護者の皆さんと先生方に迎えられる子ども達は、安心感があるように見受けられます。気持ちのいい挨拶から始めると充実した一日になりますね。私も家庭・職場・地域でも自然と挨拶が出来るようになりました。

アルミ缶回収での義援金をお届けに、被災地に行かれたそうですね。

井原：実際に被災地に伺い、校長先生とお話できたこと、子ども達と挨拶を交わせたこと、被災状況を確認されたことなど、あらためて今後も継続して支援を続けていく必要性を感じました。皆さんの心を届けていきたいと思います。

桜区区民まつりでの親睦ビーチボール大会は盛り上がりでしたね。

井原：区民まつりで初めて体育館を使用していた大会でしたが、たくさんの皆さんと一緒に汗をかくことができ、とても充実した大会になりました。桜区にビーチボールがもっと普及すると良いですね。『楽しかった!』

最後に、これからの桜区PTA連合会について一言お願いします。

井原：多くの会員さんとふれあえる機会が少しずつ増えてきました。これからも子ども達のために、皆さんと協調し活動ができる事業展開ができればと思っています。

さあ、動き出そう〜Just Movement〜です。

桐淵教育長のお話は、子どもたちを取り巻く環境の変化がもたらす影響を二五年前の資料より見ることから始まりました。生活の健全さが成績に反映する事、そして環境と成績の関係で、さいたま市の子どもたちは、全国の子どもたちと比較しても良い数値を示しており、がんばっているとの事でした。小中連携については、小中連携に取り組んでいるモデル校では不登校生徒の減少、いじめ件数の減少など、確実に成果が上がっているというお話がありました。子ども達の環境や社会の変化に対応するためにも、「小中連携」がますます注目されるものと思われました。

グループ討議の主な内容

大久保中・大久保小・神田小

小学校から中学校への「不安」を子どもや保護者から取り除くことが重要である。小中連携をPTA役員で止まらず広く保護者にどうPRし、参加してもらうかが課題。参加してもらう事で不安を解消したい。

上大久保中・大久保東小・栄和小

小中の情報の共有が必要であり、小中連携モデル校の活動の情報を保護者に広く流して行く。広報紙や学校だよりを小中学校でうまく活用して行きたい。子ども達が基本的な生活習慣を身に付ける事も課題である。

土合中・土合小・中島小

できることから行うという点では、小中学校の「情報交換」であり具体的には「生徒指導」であろう。9年間通じて生徒を育成するという観点から学校とPTAが連携した形で小中連携を拡げるのが理想的である。

田島中・田島小・新開小

西浦和小も含め4校連絡協議会や4校音楽会、PTAもふれあい懇話会などを開催し、小中連携を実施している。これらの内容や情報を、いかに広く保護者や地域に発信し、周知してもらうかが今後の課題である。

また、小中連携の事例紹介として二件の報告がありました。まず、施設一体型小中一貫校である品川区立伊藤学園の視察に桜区小学校校長会が行った報告を、栄和小・阿久津校長先生よりいただきました。続いて、小中連携モデル校として市教委より委嘱校に指定された上大久保中学校の進捗状況を、汐満校長先生より報告していただきました。今後の「小中連携」を推進していく上でたいへん参考になりました。

熱い意見交換 グループ討議



講演に続き行われたグループ討議では、4つの中学校区に分かれ「小中の連携」について意見を交わしました。「小中学校での情報の共有が必要」「中一ギャップの不安」などの課題が上げられました。(=田島小PTA撮影)

ビーチボール大会

32チームの頂点に



優勝目指して32チームが熱戦を展開(=大久保東小PTA撮影)

親睦ビーチボール大会

桜区区民ふれあいまつりで開催

第九回桜区区民ふれあいまつりの中で、親睦ビーチボール大会(桜区区民まつり実行委員会主催・桜区PTA連合会協力)が、平成二十三年一〇月二日(土)、記念総合体育館サブアリーナにて開催されました。大会には三二チームが参加し、桜区PTA連合会からは、一二校二五チームが参加しました。大会は盛り上がりを見せ、神田小PTAの「ジンデーズ」が接戦を制し優勝をしました。

朝から雨で肌寒い日でしたが、寒さを吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。各チームの実力も均衡しており、僅差の試合が続きました。試合の合い間に、大久保東小学校の金管バンドの演奏があり、ひと時のあいだ、戦いを忘れて子ども達のすばらしい演奏に聞き入りました。

平成二十三年は、東日本大震災で「絆」があらためて認識された年でした。桜区PTA連合会では、ビーチボールを通じて、今まで以上に地域との交流を深めて行きたいと思っており、桜区親睦大会が盛大に開催された事は、たいへん有意義であったと感じました。

今大会では「さいたま市ビーチボール協会」の皆様に、全試合の審判ならびに体験コーナーでの指導を行っていただきました。厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

朝から雨で肌寒い日でしたが、寒さを吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。各チームの実力も均衡しており、僅差の試合が続きました。試合の合い間に、大久保東小学校の金管バンドの演奏があり、ひと時のあいだ、戦いを忘れて子ども達のすばらしい演奏に聞き入りました。

平成二十三年は、東日本大震災で「絆」があらためて認識された年でした。桜区PTA連合会では、ビーチボールを通じて、今まで以上に地域との交流を深めて行きたいと思っており、桜区親睦大会が盛大に開催された事は、たいへん有意義であったと感じました。

▽決勝

ジンデーズ	2	11	11
(神田小)	11	11	7
	9		0
			ムッチーズ
			(中島小)

▽準決勝

ジンデーズ	2	10	11
(神田小)	11	11	10
	8		10
			OKB・80A
			(大久保小)

ムッチーズ	2	9	11
(中島小)	11	11	4
	10		1
			上中ソルト
			(上大久保中)

◇順位 ①ジンデーズ(神田小PTA) ②ムッチーズ(中島小PTA) ③OKB・80A(大久保小PTA) ④上中ソルト(上大久保中PTA)

昨年の悔しさをばねに団結

神田小PTAに聞く

昨年の区P連大会でジンデーズは4位でしたが、メンバー一同とても悔しい思いがあり、次は優勝を！と練習に励みました。メンバーの親睦・団結力が深まり、その結果が優勝に繋がりました。優勝は運もあったと思いますが、保護者や先生方と楽しく参加でき、興味を持つ人も増え、今から次回の大会に向けて気合いが入っているジンデーズです。



初優勝を飾ったジンデーズ

交通安全標語の入選決まる

一〇月二二日(土)、「桜区区民ふれあいまつり」において、さいたま市の小学生を対象に募集した交通安全標語の入賞者の表彰式が行われました。約二〇〇〇の作品の中から一二の標語が入選しました。交通安全保護者の会桜支部に桜区PTA連合会が協力をして、今回は会長賞も設けられました。

交通安全への意識、関心の向上、交通事故をなくしていくためには、子供達だけでなく私たち大人側の働きかけも必要とされています。

▲浦和西交通安全協会会長賞を受賞した、大久保小学校・小菅祥太郎くん(桜区区民まつりプラザウエストにて =大久保小PTA撮影)



交通安全への意識、関心の向上、交通事故をなくしていくためには、子供達だけでなく私たち大人側の働きかけも必要とされています。

- ▼桜区長賞
ぼくはここ 光る
シールで、じこぼうし
- ▼浦和西交通安全協会会長賞
ぼくするよ のつたら
すぐに シートベルト
- ▼桜区PTA連合会会長賞
前を見て けいたい
やめて こっち見て
- ▼交通安全保護者の会桜支部長賞
ゆずりあう その
やさしさで 事故もへる
大久保中2年 小川遙香

桜区区民ふれあいまつりで表彰式
交通安全保護者の会と桜区P連

区P連 あいさつ運動などをパネルで紹介

区民まつりが開催された10月22日、記念総合体育館1階ロビーにおいて、桜区PTA連合会の活動内容を紹介するポスターパネルの展示を行いました。「自分の学校が載っている」と、多くの人に見ていただきました。(右ボード右より) 桜区PTA連合会の活動を6枚のパネルで紹介しました。

- ・桜区PTA連合会紹介
- ・区P連ホームページ
- ・PTAとビーチボール
- (左ボード右より)
- ・被災地支援アルミ缶回収
- ・スマイルあいさつ運動
- ・花と緑ふれあい事業





桜区 12 校の絆を表現した花壇が完成

桜区では、区民の皆さんと一緒に花と緑あふれる桜区を目指す『花と緑ふれあい事業』を行っています。さいたま桜高等学校、浦和工業団地共同組合などが「桜区花と緑ふれあいサポーター」として、すでに桜区役所前の敷地に花壇を作りました。桜区PTA連合会では、この「花と緑ふれあいサポーター」に参加し、桜区PTA連合会の花壇を作りました。七月に雑草の除去から始め、花壇のレイアウトを決めてスペースを区切り、少しずつ花壇を作り上げていきました。そして八月二十八日(日)、多くの親子の参加をいただき、花壇は完成しました。

の学校を表しています。一二の学校を結びつける一本の大きな樹。ひと夏をかけて完成した花壇は、地域の結びつきを象徴しています。



▶親子でふれあいながら花壇づくり(桜区役所前にて)

九月一〇日(土)、第一回副会長会(栄和小学校幹事)が開催されました。桜区PTA連合会で行われている「被災地支援・アルミ缶回収」を始めとする、ボランティア活動への取り組みや報告がなされ、PTAとして何ができるか、活発な意見交換が行われました。その後、「子ども達の安全」、「地域との連携」、今年度から行われる「小中連携」等についても話し合われました。

震災後初めてのPTA関係の会合ということもあり、冒頭に東京電力より、原発事故の状況報告や節電協力の感謝とお話がありました。短い時間で議論は尽きませんでしたが、活気ある活動に向けて取り組みめる副会長会となりました。



区連副会長会開催(プラザウエストにて=土合小PTA撮影)

平成 23 年度
桜区PTA連合会
広報情報委員

- 近松敦子 (大久保小)
- 村田恵 (大久保小)
- 小倉香織 (神田小)
- 小田千秋 (神田小)
- 宇津木淑江 (大久保中)
- 小泉美絵 (大久保中)
- 伊藤こず枝 (大久保東小)
- 鈴木直子 (大久保東小)
- 見城真由美 (栄和小)
- 成田朋子 (栄和小)
- 霜田友子 (上大久保中)
- 大沢美咲 (土合小)
- 塚本敦子 (土合小)
- 佐藤亜由美 (中島小)
- 寺島奈緒美 (中島小)
- 梨本淳美 (土合中)
- 鍋岡智子 (土合中)
- 大村麻紀 (新開小)
- 田村妙子 (新開小)
- 小野寺敦子 (田島小)
- 宮崎明美 (田島小)
- 芝辻晴美 (田島中)
- 土山真弓 (田島中)

上記 23 名の委員の皆さんに一年間、取材等のご協力を頂きました。ありがとうございました。

桜区 PTA 連合会 広報情報委員会

- 委員長 桜井直人 (栄和小)
- 委員 谷川めぐみ (大久保中)
- 委員 米山慎司 (田島中)

**** 編集後記 ****

桜区PTA連合会広報紙「さくら咲く」の発行にあたり、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

桜区PTA連合会は、12月の校長会長研修会を皮切りに、小中連携を深めるための議論をいろいろ重ねています。紙面の都合で今回紹介できなかった内容はホームページなどを通じて、今後も広く情報発信していきます。皆様のご意見を是非お聞かせください。(編集担当者)

活動報告

桜区PTA連合会の定期総会が、平成23年6月11日(土)にプラザウエストにて開催されました。この総会をはじめとして一年を通して、さまざまな活動が行われてきました。

6月 18日	市P協 定期総会	10月 22日	桜区ふれあい区民まつり
7月 2日	区P連 正副会長会	10月 22日	桜区親睦ビーチボール大会
7月 2日	区P連 第1回 広報情報委員会	11月 16日	市P協 役員研修人権講演会
7月 5日	被災地支援アルミ缶回収開始	11月 19日	区P連 第2回 広報情報委員会
7月 28日	区P連 第1回 理事会	11月 22日	区P連 第4回 理事会
8月 28日	桜区花と緑ふれあい事業	12月 17日	区P連 校長会長研修会
9月 1日	第2学期スマイル!あいさつ運動	1月 10日	第3学期スマイル!あいさつ運動
9月 10日	区P連 第1回 副会長会	1月 24日	区P連 第5回 理事会
9月 27日	区P連 第2回 理事会	1月 28日	区P連 第2回 副会長会
10月 7日	市P協 教育委員会交流会	2月 4日	青少年育成桜区連絡会
10月 18日	区P連 第3回 理事会	2月 10日	桜区新春のつどい
10月 21日	日本PTA関東ブロック大会	3月 5日	広報紙 さくら咲く第5号 発行

みなさんの学校のPTA活動が載っています。

桜区PTA連合会のホームページをご覧ください。

あいさつ運動 PTA行事 ビーチボール 会長ブログ



さいたま市桜区PTA

検索

<http://www.sakuraku-pta.com/>

